

## 令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(本郷小学校)

### 平均正答率

#### 1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
本郷小	下回った	下回った	下回った	下回った	下回った	下回った
埼玉県	62.1	56.2	63.8	63.0	63.0	59.8

#### 2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
本郷小	5-A	5-A	7-C	5-C	5-B	6-C
埼玉県	6-C	6-A	7-A	5-B	6-C	6-A

#### 3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
本郷小		0	1		2	1
埼玉県		0	3		1	1

## 児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
		本郷小	埼玉県	本郷小	埼玉県	本郷小	埼玉県
生活習慣	・脱いだ履き物のかかとをそろえる	80.0	79.6	93.3	82.1	90.7	85.5
	・はっきりあいさつをすることができる	92.0	75.8	90.0	75.6	87.5	77.5
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができる	80.0	81.9	96.7	83.2	93.7	83.5
学習習慣	・勉強する前に、これから何を勉強しなければならないかについて考える	48.0	49.5	63.3	47.7	56.3	51.7
	・勉強をするときは、最初に計画を立ててから始める	48.0	42.3	50.0	41.6	43.8	44.3
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	68.0	54.4	76.7	60.1	78.1	51.7
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	24.0	24.4	33.3	19.5	9.4	19.3
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	69.2	67.2	83.3	70.5	75.0	75.2
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	72.0	75.5	86.7	72.8	90.6	63.5
ICTの活用	・昨年度の国語の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	32.0	18.6	23.3	18.3	6.3	19.5
	・昨年度の算数の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	8.0	14.6	20.0	13.4	3.1	14.8
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	44.0	24.3	40.0	24.4	15.7	24.0
その他	・自分には、よいところがある	72.0	79.9	70.0	78.2	96.9	74.0
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	72.0	76.8	73.4	77.7	87.6	75.3
	・将来の夢や目標をもっている	92.0	86.9	86.7	87.3	93.8	81.9

### 【質問紙分析】

- ・上記の項目において、約63%が県の平均を上回っていました。特にあいさつについては、「あいさつ日本一」をスローガンとしている取り組みで習慣化されていると考えられます。
- ・ICTの活用について「算数の授業でほぼ毎回タブレットを使っていた」を答えた児童が4, 5, 6, 年生で下回ったのは、授業において単元に合わせてタブレット以外のドリルやプリントなど組み合わせながら定着を図っていると考えられます。

## 伸びが見られた学級・教科での取組

### 【学級】

- ・各学年とも埼玉県 averages を下回ってしまいました。
- ・5年生の国語の平均は、埼玉県も本校も伸びがありませんでした。

### 【国語】

- ・各学年ともに平均値は、あまり伸びていませんでした。
- ・5年生では8ポイント、6年生では7ポイント伸ばした児童がいました。

### 【算数】

- ・5年生の算数では、平均では伸びはみられませんでした。学級の中で昨年度からの伸びが3以上の児童が約半数いました。
- ・算数で5、6年生に伸びが見られたのは、スクリーニングテストやレディネステストなどをもとに個に応じた少人数授業を実施している結果だと考えられます。
- ・伸びが見られた算数では、タブレットを活用した課題やドリルに取り組んだ結果、基本的な内容についての理解が身に付いた児童が増えたことが考えられます。

## 一人一人をより伸ばすための取組

- ・職員研修で埼玉県学力状況調査や全国学力状況調査の結果から本郷小学校の児童全体的な傾向や個人の学習状況の把握に努め、授業改善に努めます。
- ・課題が見られた国語においては、読む力をつけるために引き続き読書指導の充実を図っていきます。本校の取組読書通帳や暗唱課題などについても児童の取り組む意欲が継続できるよう内容の見直しも行っています。また、日々の日記の取組に加え、週末、保護者にも協力を頂いている日記の取組も内容が深まるよう見届けをします。
- ・算数においては、教職員が研修を重ね、児童の学力を伸ばすために個別最適な学びに必要な環境づくり（教材や学習形態）を心掛けます。
- ・今年度もスクリーニングテストやアンケートなどを実施しながら、一人一人の学力を伸ばすため児童の目線に立った授業改善に努めていきます。
- ・一人一人に対応する課題を出せるように、ICTを効果的に活用していきます。